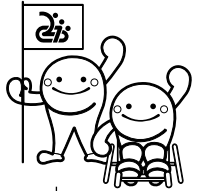


# よさこいピック高知 11月9日(土) ~ 11月11日(月)

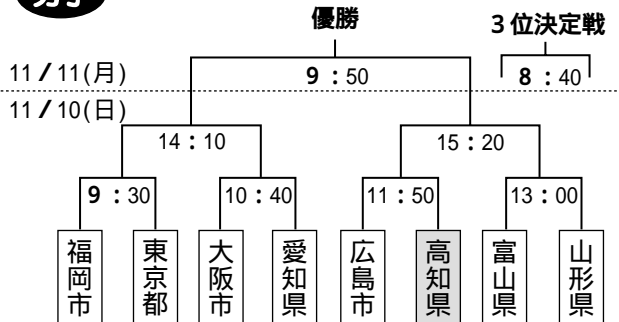


● 今月はいよいよ、よさこいピック高知が開幕します。  
 南国市では10日(日)・11日(月)にスポーツセンターで、バレーボールとフットベースボールの競技が行われます。  
 皆さんの応援が選手の皆さんにとって、大きな力となりますので、ぜひ会場での応援・観戦をお願いします。

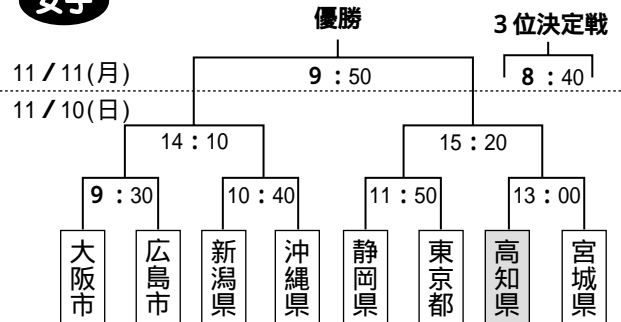
## バレーボール

聴覚障害者の競技で、男女別々に行われます。ルールは、一般の6人制バレーボールと同じです。試合は、1セット25点のラリーポイント制、3セットマッチで行われます。

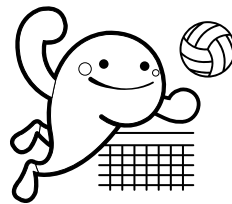
### 男子



### 女子



男子高知県チーム

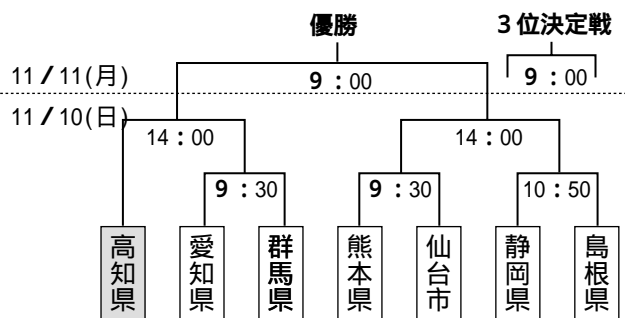


女子高知県チーム



## フットベースボール

ルールは一般のソフトボールとほぼ同じですが、ピッチャーがゴム製のサッカーボールを両手で転がして投球し、キッカーが足で蹴ってプレイします。盗塁、デッドボール、パスボールなどは認められていません。試合は、7イニング制ですが、試合時間制限を設けています。



高知県チームの攻撃!



### ご来場方法および交通規制

できる限りシャトルバスまたは公共交通機関をご利用ください。  
 大会期間中は土電後免町駅から会場まで、無料シャトルバスを運行します。  
 乗用車でご来場の方は、なんごく流通団地および高知みなみ流通団地のパークアンドライド駐車場をご利用ください。  
 パークアンドライド駐車場から会場までは無料のシャトルバスを運行します。  
 9日(土)午前7時~正午まで県立春野総合運動公園周辺で、一般車両の通行が規制されますので、ご注意ください。

お問い合わせは、第2回全国障害者スポーツ大会高知県実行委員会事務局( 822-7200 )まで  
 ホームページアドレス <http://www.pref.kochi.jp/zenspo/title.html>

# 市町村合併説明会を実施

9月25日、27日の間、スポーツセンターなど3会場で説明会を開催しました。参加者は初日1名、2日目は12名、3日目は36名と大変少ない参加者でした。市町村合併に対して関心の低さを示す参加人数でしたが、参加者の中からは、強く合併を望む声が聞かれました。市長の経過説明、企画課合併担当の資料説明の後、質疑応答が行われました。その中の主な意見をご紹介します。



## 単独自立の方向を示し、一層、行財政改革の推進！

**市長** 合併問題については、議会の市町村合併調査特別委員会の議論を経ており、「単独やむなし」ということです。行財政改革を行えば、合併しなくてもやっていけるといふことで、異論は出ませんでした。

**市民** 今年の12月議会までに協議会をつくる時間がないが、どのようにするつもりか。もう一度、合併するために汗をかき、できれば香南ブロック、少なくともどこかの町村と合併をすることができないか。

**市長** どこでも合併するということではなく、少なくとも香南ブロックでないといけ

ない。(県の示した枠組みの)香美郡全体でまとまり、人口11万人の新しい産業拠点を作るべきだと考えていたが、香北3町村が分離協議しているので、今後は香南と芸西の議論が成熟するのを待ちたいと考えています。

**市民** 香南5町村・芸西・南国ブロックから、なぜ南国市がのけられたか、理由をお聞きしたい。

**市長** 香南5町村の中から、「香南でまとまるかどうか協議したいので、南国市は一步ひいてもらいたい」との意向があり、「香南5町村でまず、まとまってください」と返答した。香南ブロックがまとまってるから、協議を始めたいと思います。

**市民** 南国市は大きさからいっても堂々とインシアチブが取れる市なのに、受身になっているように見える。説明会の参加人数が少ないので、企画課は周知を綿密にお願いしたい。

**市長** 「積極的にやれ」と議会で指摘を受けたが、当市は人口5万人なので、他町村は「吸収される」というふう

に考え、また「香美郡内のつながりは強いが、物部川を越して南国市とのつながりは薄い」などの意見もあり、協議もなかなか前に進みませんでした。

今後は、説明会の周知方法について、広報紙・新聞・宣伝車以外にも色々と考えていきます。

**市民** 高知市と合併するようにならないのか。

**市長** 確かに高知市と合併すれば楽ですが、一極集中を防ぐという合併の根本から、県の枠組みの中で協議・努力を進めています。

**市民** 法定協議会設置までの時間がないので、香南5町村と市単独のどちらかと思うが。

**市長** 今の時点では、香南の議論が熟していないので、単独で進む可能性が高い。市単独で行かざるをえない状況です。

**市民** 市長がこのように結論したのは、合併は相手のあることであり、現状を踏まえたものであると思う。やり方によつては単独でもやれないことはないと思う。事業も箱物

は経費が後々かさむので十分な吟味が必要なのは。たとえ合併しても行財政改革はしなければならぬと思う。

**市長** 合併したから、行財政改革をしないというわけではありません。単独の選択しか残らなかった場合、情報公開しながら一層の行政組織のスリム化を図っていきます。

### 市町村合併に関して 市長の回答要旨

南国市は合併しないとは言つてはいない。「しない」発言は全くしていない。固定資産税や法人住民税は(香美郡の)他の町村より高い負担を課しているのに、南国市にはできていないものが多い。負担は高く徴収しておきながら、サービス、特に箱物(図書館など)については、ずいぶんと未整備が多い。税の格差を解消する努力をしなければならぬ。議会の市町村合併調査特別委員会を開催し、今回の報告を行い今後の方向を検討していきます。

お問い合わせは  
企画課企画調整係  
(880・6553)まで